

## 九州大学経営協議会議事録

日時：平成28年10月20日（木）13:00～15:05

場所：九州大学 椎木講堂大会議室

出席者：28名中23名出席

### 【紹介】

10月1日付けで本学役員等（任期更新、任務の変更、副学長の追加）について、紹介があった。

### 【常に未来の課題に挑戦する大学 ～三年目を迎えて～】

総長就任三年目を迎えて「国立大学を取り巻く情勢、九州大学の取組」について説明があった。

なお、以下のような質疑応答があった。

- ・グローバル人材育成の観点から新学部に期待するところが大きいですが、準備状況はいかがか。どのような人材を輩出することを狙っているのか。  
→新学部のカリキュラムや入試方法など、学内で検討を進めているところ。学部の名称等については11月上旬に記者発表する予定としている。主体的自律性、国際コミュニケーション力に優れたグローバル人材を育成することとしている。
- ・エネルギー研究教育機構は総合大学ならではの文理融合の取組みであり、期待しているが、規模感などどのように考えているか。  
→エネルギー研究教育機構では、個別要素研究の領域間で連携できる場所、学際融合研究の場所を中心に支援していく。さまざまな分野から参画していただくことを予定しているが、エネルギー研究教育機構を本務とする教員の規模としては12名～14名程度を想定している。
- ・大学ランキングにおける九州大学の強み、弱みをどう捉えているか。  
→「産業界からの収入」、「教員一人あたり学生数」は九州大学の強みとなっている。弱みとしては「論文被引用数」。1)研究戦略の策定、2)人材・人事戦略、3)研究環境整備、4)研究の国際ネットワーク拡大など、戦略的に世界大学ランキングに対応していくこととしている。
- ・厳しい財務状況であることは理解できたが、今後も運営費交付金が減らされる中、どのように備えていくか。中期的な財政計画を示してほしい。  
→安定的な財政基盤の構築のために、寄附金の獲得、ロイヤリティ収入の増加、共同研究の拡大など、財源の多様化を推進していく。支出を減らす取組みも進めており、できる限りの方策を取って難局を乗り越えていく必要がある。また、箱崎の土地の売却を成功させることも重要な課題と認識している。中期的な財政計画については次回の経営協議会でお示しさせていただきたい。

### 【前回の経営協議会における委員からの指摘について】

前回の経営協議会において委員から指摘のあった、「大学として重点的に取り組む項目」、「ロースクールの今後」、「安定的な財政基盤の構築」、「研究の事業化」について説明があった。

なお、以下のような質疑応答があった。

- ・ギャップファンド事業における外部審査委員の役割が重要になると思うが、どのような人を

想定しているのか。企業で実務に関わる人なども加えて多様な意見を取り入れてほしい。

→ベンチャーキャピタル代表などを外部審査委員として想定している。審査員としてだけでなく、研究を事業化するまでのメンターとしての役割も果たしていただくことを想定している。

#### 【審議事項等】

##### 1 重要な財産譲渡に係る認可申請について

キャンパス移転事業の財源となる箱崎キャンパス跡地を今後複数年にわたり処分していくことについて説明があり、審議の結果、これを議決した。

なお、以下のような質疑応答があった。

- ・土地価格は現時点では堅調に推移しているが、先行きは分からない。前倒しで計画を進めていくことも検討するべきではないか。

→貴重なご意見として承る。

- ・跡地処分の収支は、プラスマイナス・ゼロではなく、収入がプラスになるようことを目指していただきたい。

→九大の負担額が出ることはないよう、よりよい条件で売却を進める必要があると認識している。

- ・箱崎の土地が民有化されるということは、県や市にとって、税収入などのプラスの側面が大きい。九州大学にとってプラスになることは強く主張していくべきではないか。

→貴重なご意見として承る。関係各位の協力をいただきながら、跡地処分に当たっていききたい。

##### 2 平成28年人事院勧告の概要及び役職員の給与の支給基準の検討について

平成28年人事院勧告が8月8日になされたこと及び職員の給与の支給基準の検討を開始することについて報告があった。

##### 3 平成29年度概算要求について

文部科学省から財務省へ提出された本学の平成29年度概算要求等について、報告があった。

なお、以下のような質疑応答があった。

- ・文部科学省から財務省に要求したときに、削られた場合どうするのか。

→大学としては、どうしても進めなければならない事業にはプライオリティを付して進めている。

#### 【懇談】

会議後、懇談会として「アリと共生する昆虫の多様性と進化」、「PM2.5予測システムの開発」について説明があった。

#### 【その他】

次回の経営協議会は平成29年1月24日に開催予定である旨の案内があった。また、個人番号（マイナンバー）提供に係る協力依頼、キャンパス視察についての案内があった。

（ 以 上 ）